



最新情報は、HPをご覧ください

発行・編集 旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597

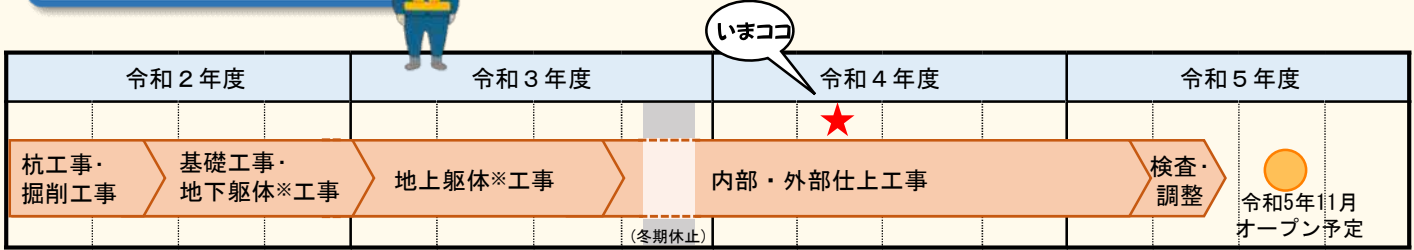
choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は、令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。



工事の進捗



※ 躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

7月



外部は外壁と窓の取付けや防水工事、内部は間仕切り壁や天井、建具の取付け、電気・設備関係は大型機器の搬入や配管の取付け等が進められており、毎日約150人の職人さんたちが作業を行っています。

昨年4月から工事のシンボルのように立っていたタワークレーンですが、8月下旬には役目を果たし解体されます。これほどのクレーンは、市内ではなかなか見ることができないので、寂しい反面、完成が近づきつつあるのを実感します。



9階屋外展望広場



7階会議室

旭川市新庁舎9階展望フロアにお名前を刻みませんか 新庁舎への寄附を募集中！

新庁舎の整備に活用するため、皆さんからの寄附を募集しています。9階展望フロアの壁面に設置する銘板に、寄附をいただいた方のお名前をローマ字で刻みます。

【寄附金額】 1口1万円以上 【募集口数】 5,000口



工事現場日記

令和4年7月6日（水）



今年の避難訓練は消防本部の立ち会いのもと実施しました。約170名の作業員が全員参加し、いざという時の行動について意識を高めました。

令和4年7月7日（木）



天井の中は、換気のためのダクトや排水管、電気の配線等が並んでいますが、この後、仕上材を取り付け隠れてしまいます。

特集 新庁舎の議場屋根 ～木質梁を使った構造～

新庁舎の議場には、木材を多く使っていますが、議場の屋根を支えるアーチ状の梁も鉄骨ではなく木質の梁を使っています。使っている木材は東旭川の市有林から伐採したカラマツを、福島県の工場加工したものです。

木質梁は、丸太から切り出した木材を何本も接着させ強度の高い集成材を作り、さらに火災に強い石膏ボードで囲い耐火性能を高めています。

7月から始まった現場での取付作業をご紹介します。



全長15m以上になる梁は2つに分割された状態で運ばれ、現場で直径1.6cm長さ24cmの金属棒36本を叩き込んでつなぎ合わせます。最高気温27℃のこの日は、汗だくで金づちを振り下ろしていました。



クレーンで屋上の取付位置まで運び、オートレベルという高性能測定器を使って、ミリ単位で調整します。

位置の調整が終わると梁の両端を直径2cmのボルト8本ずつで建物に固定します。

